

- 1 会議名 議会運営委員会
2 日 時 令和4年6月21日（火）
開会 午前10時22分
閉会 午前10時45分
3 場 所 正・副議長応接室
4 出席委員 （委員長）片岡健一郎、（副委員長）須藤智子
（委員）谷平敬子、宮川隆、梶谷規子
5 欠席委員 なし
6 出席議員 伊藤隆信議長、関戸郁文副議長、水野忠三議員、大野慎治議員
7 説明員 行政課長 佐野剛
8 事務局 議会事務局長 丹羽至、同統括主査 寺澤顕
9 委員長あいさつ
10 議長あいさつ
11 協議事項

（1）議員提出議案について

議会事務局統括主査：資料に基づき説明

資料のとおり、議員提出議案第1号を上程することに決した。なお、提案説明は提出者に当たる鬼頭博和議員であると確認した。

【質疑】

質疑なし

（2）追加議案について

行政課長：資料に基づき説明

補正予算に係る議案2件及び工事請負契約に係る議案1件の計3件の付議事件と確認した。

【質疑】

質疑なし

（3）議案の精読時間について

10分間と決した。

【質疑】

質疑なし

（4）令和4年9月（第3回）岩倉市議会定例会会期（案）について

議会事務局統括主査：資料に基づき説明

令和4年8月26日から9月26日までの32日間の会期と決した。

【質疑】

片岡委員長：6月定例会初日の議会運営委員会で資料として配付したところ

である。各会派にて検討いただいていたがどうか。

梶谷委員：会派としての意見は８月２６日から９月２８日までの３４日間の会期が良いとまとまった。決算証書類審査の後に各常任委員会を開催する会期案が妥当と考える。

須藤副委員長：決算証書類審査は２日で良いとまとまっている。

谷平委員：会派の議員からは８月２６日から９月２６日までの３２日間が良いと聞いている。

宮川委員：決算証書類審査の後の各常任委員会開催が妥当とまとまっている。

決算証書類審査の日数であるが、会派としては２日間でも問題ないが、先人が築き上げてきた議会としての権利を考えたときに早急に決めるのはどうかという意見でじっくり考えた方が良いのではとまとまった。

谷平委員：決算証書類審査の日数は２日でお願いします。

片岡委員長：意見が分かれたようであるし今年度の９月定例会決算証書類審査は３日間ということでお願いします。会期については資料両案で意見が分かれた。決算証書類審査の後日すぐに財務常任委員会は厳しい面もあると考えるがどうか。

大野議員：昨年のことを申し上げると厚生・文教常任委員会の会議録の作成期間を考慮し決算証書類審査を財務常任委員会の直前とした。

片岡委員長：両案ともに会議録は最終日に間に合うと思われるが。

議会事務局統括主査：どの定例会も最終日以降は市議会だよりの編集にとりかかることになる。資料下の会期案は最終日が９月２８日である。本６月定例会の最終日は本日６月２１日である。そこに７日間の開きが生じる。現況、市議会だよりの編集は納品日までぎりぎりの作業状況にある。昨年も９月定例会会期案を議論していただいたが、大野議員がおっしゃる会議録作成期間、そして市議会だよりが予定する納品日に間に合わない可能性があるとして決算証書類審査を財務常任委員会の直前とした。

梶谷委員：両案で委員会予備日の日数が違うがなぜか。

議会事務局統括主査：さきほど大野議員がおっしゃられたように最終日の議案審議に係る委員長報告に間に合うように会議録を作成している。委託契約上は委員会会議録の納品を依頼から７日間としているが、委員長報告に必要な会議録が出揃う予定日の翌日を最終日として会期を作成している。

大野議員（議会広報委員会委員長）：市議会だよりの納品日から逆算すると会期が長くなると作業工程が苦しくなる点を配慮いただきたい。

宮川委員：３月、９月定例会は議案も多いためこの数年は苦心しながら会期を決定してきた。市議会だよりを間に合わせることに重きを置くべきか、

定例会の議案等の十分な審議を担保するために会期を決定するのか考えどころである。委員長報告の在り方もしっかりした物を記録として残すことは大切とも思うが、かつては予算・決算の委員長報告に１時間程度を費やしていた時代もあった。今回のようにその都度議論するよりは会期の持ち方をどこかで議論していただければ良いかと考える。

片岡委員長：開会を早めてはいかがか。

宮川委員：そもそも３月、９月定例会はその月に開会していたが、現在は２月、８月開会に前倒しすることとなった。議論のうえ、ぎりぎりまで前倒しした経過もある。市長の議案提出の関係もあるため、これ以上の前倒しは議会だけで決められるものでもない。

片岡委員長：様々に意見が出されたところではあるが、次回９月定例会の会期を決めていかななくてはならない。

宮川委員：資料の案は妥協の産物と捉える。

須藤副委員長：資料下の案だと市議会だよりの作成に影響がありそうだ。以前はどうだったのか。

宮川委員：以前は広報いわくらが半月毎に発行されていたので、１日号ではなく、１５日号で議会だよりを発行していた。半月分早まったことが原因といえる。

榊谷委員：資料上の会期案で異論はない。

片岡委員長：今後３月、９月定例会の会期の持ち方を議論していきたい。

宮川委員：特に来年の３月定例会は他の年とは異例で、市議会議員選挙の直前となるため会期も十分に考えていかないといけない。

片岡委員長：来年の３月定例会の会期は十分に議論するとして、次回９月定例会会期案は資料上の会期案でよろしいか。

各委員：異議なし。

片岡委員長：９月定例会会期案は８月２６日から９月２６日までの３２日間と決する。

（５）その他

特になし

１２ その他

特になし